

申請書の「2. 収入に関する事項」の考え方

2. 収入に関する事項

A. 当年売上減少月の売上額 【2・3・4・5月】 ※該当月を○で囲む	B. 前年同月1ヶ月の売上額 ※1ヶ月の売上額が分からない場合は、 年間の売上げを12で除した額を記入	売上の減少額 A－B
円	円	円

申請書のAとBの欄は
何を基に書けばいいの？



◆根拠資料の例

①法人事業概況説明書

月別	売上(収入)金額	仕入金額	外注
18月	千円	千円	千円
月別			
18月			
月			
月			
月			
月			
月			
月			
月			
月			
計			

対象とする月の「月別売上高等の状況」欄の金額を記入してください。

②帳簿類

◆令和2年2月分						
No.	月	日	勘定項目	収入	支出	残高
1	2	1	繰越代金			500,000
2	2	2			30,000	470,000
3	2	3		50,000		52,000
4	2	4			20,000	500,000
				80,000		58,000
				35,000		615,000
					40,000	575,000
				20,000		595,000
8	2	8				
9						
10						

1か月の合計額を記入してください。

③青色申告決算書

【記載例 (決算書2ページ)】		
令和07年分		
提出用	令和元年分(以降)	令和元年分(以降)
月	売上(収入)金額	仕入金額
1	2,644,000	1,756,000
2	2,506,000	2,102,000
3	2,980,000	2,148,000
4	3,044,000	2,195,000
5	3,107,000	2,452,000
6	3,459,000	2,293,000
7	3,228,000	2,014,000
8	2,859,000	2,227,000
9	3,351,000	2,456,000
10	3,602,000	2,629,000
11	3,838,000	2,605,000
12	4,135,000	2,728,000
計	39,250,000	27,976,000

対象とする月の「月別売上金額」欄の金額を記入してください。

④月別の売上を証明する書類がない場合

令和07年分の所得税及び復興特別所得税の申告書B

事業等

法人事業概況説明書

この金額を12で割った金額を記入してください。